



直方市立下境小学校 学校だより第4号

# 下境っ子

令和7年5月19日(月)

校長 今川 恵子

## 「世界一じゃんけん」で始まる学校生活

企画委員会が行っている「世界一じゃんけん」をご紹介します。  
この取組は、みんなが笑顔になり、一日を楽しくスタートするために、企画委員会が発案し、毎朝実施しているものです。

8時20分になると、校内放送で音楽が流れ、子どもたちが中庭に集ってきます。企画委員の5, 6年生は3階の渡り廊下に待機しています。音楽が終わると同時に、企画委員が鐘を鳴らし、じゃんけんの始まりを知らせます。そして、元気よく「おはようございます!」とあいさつを交わして、企画委員対みんなとのじゃんけん一発勝負が始まります。

じゃんけんに勝っても負けても、いつも楽しい気持ちになるのは、明るく元気なあいさつが聞こえたり、笑顔が多く見られたりするからでしょう。企画委員をはじめ、子どもたちの笑顔に私も元気をもらっています。



## 親と子の交通安全教室 5月14日(水)

1年生の児童と保護者を対象に、直方自動車学校で交通安全教室が行われました。今年で37回目を迎え、ニュースや新聞にも取り上げられています。

登下校中の交通事故は1年生が圧倒的に多く、県内の歩行中の交通事故は年齢別にみると、7歳児が最多で、次いで8歳児が多くなっています。1年生は道路上の危険についての知識が未熟であり、学校生活の開始に伴い一人で行動する範囲が広がることから事故に遭う危険性が高くなるとのことです。

交通安全教室では、実際に車が走る中で、次のことを見たり聞いたりして勉強しました。

○道路の横断の仕方 ○車の巻き込み事故の怖さ

○急に止まらない車の怖さ

低学年に限らず、子どもたち自身が安全に気を付けて交通ルールをしっかり守って安全に登下校してくれるようにと思っています。1年生の保護者の方にも暑い中お手伝いいただきました。ありがとうございました。

